

かわ い じ ろ べ え づか
川合次郎兵衛塚
ごう ふん
1号墳



今から1400年くらい前の可児では、たくさんの古墳がつけられました。可児市川合地区では、20基の古墳が見つかっています。その中でも、川合次郎兵衛塚1号墳は最も大きな古墳です。

大きな古墳は、
地位の高い人のお墓です

ぎ ふ けん さい だい きゅう ほう ふん
岐阜県で最大級の方墳！

次郎兵衛塚1号墳は、古墳時代の終わりごろ、7世紀の初めにつくられました。大きさは、一辺29.5mで、上空から見るとほぼ正方形をしています。

このような形の古墳を方墳といいます。

方墳は、前方後円墳に代わる新しいスタイルのリーダーの墓です。同じころ、美濃地方では6つの地域で大きな方墳がつけられました。大きな古墳をつくるための、ぼう大な労力を考えると「可児地域」のリーダーが大きな権力を持っていたことが、わかります。

古墳の周りには、堀がつくられています。



まるで可児のピラミッド!?

かわ ら い し
全体が川原石でおおわれている！



次郎兵衛塚1号墳は、全体が大きな川原石でおおわれています。二段重ねにつくられていて、平らな場所にも、こぶし大の川原石がしかけていました。

使われている川原石の数は、2万個をこえています。

次郎兵衛塚1号墳のような川原石でおおわれた古墳は、木曽川や長良川の近くで多くつけられました。

地面をほったときに出てきた川原石が積まれているよ！

がわ ふきいし
◀ 古墳の東側で見つかった川原石の葺石

せき しつ
石室が3つある！

しゅしつ
主室 全長15.5m

しゅちよう ち いき はか
首長(地域のリーダー)のお墓です。
いたい あん ち しつ
遺体を安置する部屋(げん室)と、
そこへの通路(せん道・前庭部)に
分かれています。



しつ
げん室内の様子



ふくしつ
西副室 全長7.4m

こ ふん
東西の副室は、古墳が完成した
後に増築されたことがわかって
います。

ふくしつ
東副室 全長1.7m

はか
子どものお墓だと考えられてい
ます。子どものための副葬品が
見つかっています。

ふく そう ひん
ゆたかな副葬品！ (川合考古資料館で展示中！)

せきしつ
3つの石室の中や周囲からは、副葬品などがたくさん見
つかっています。いろいろな形の須恵器(高温の炎でかた
く焼かれた土器)や矢じりなどの鉄器、ガラス玉や金色に
かがやく耳環などが見つかりました。

何が入られていたのかな？

こ ふん
古墳の大きさや貴重な副葬品が見つかることから
らも、この古墳に葬られた首長と、その家族が川合地区を
中心に当時の「可児地域」全体を治めていたことがわかり
ます。

こ ふん
古墳時代のアクセサリーだよ！

これらの出土品は、次郎兵衛塚1号墳の横の
「川合考古資料館」で見ることができます。(入館無料)

〒509-0208 可児市川合北2丁目14番地 川合公民館内

休館日: 毎週月曜日(祝日を除く)・祝日の翌日

電話番号: 0574-63-4339

ふくそうひん な
副葬品とは亡くなった人への
そな
お供え物だよ！



ふくしつ しゅつどひん
東副室で見つかった出土品



しゅしつ じかん
主室で見つかった耳環



しゅしつ せい ぎよくるい
主室で見つかったガラス製の玉類